

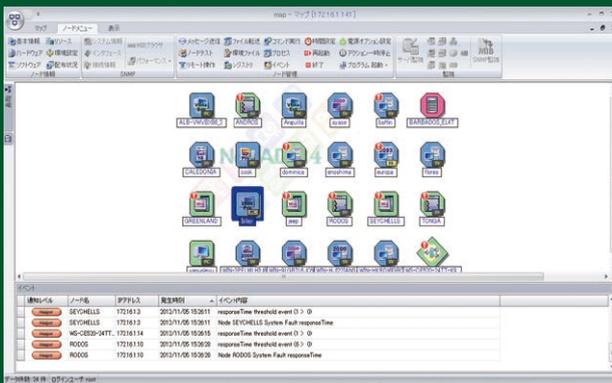
# NAS Center Net-ADM 4

サーバ・PC・ネットワーク 統合運用管理ツール

## シンプルオールインワン

NASCenter Net-ADMは、  
「シンプルオールインワン」をコンセプトに開発された、  
企業内のIT環境の監視・管理・情報収集を行う統合運用管理ソフトウェアです。  
使いやすさと分かりやすさが特徴の、管理者のためのツールです。

リボンインターフェースで機能の実行



ドッキングウィンドウでたくさんの情報表示



# 使いやすさを追求した統合運用管理ツール

## 使いやすさの理由

一つのコンソールでネットワーク監視やサーバ監視、PC資産管理や操作ログ、性能情報の収集などの操作を行え、監視情報や資産情報、操作ログなどもすべて一つのデータベースで統合的に管理しているので、データ出力・加工も簡単です。シンプルオールインワンだから、製品・サポートサービスの購入や管理が簡単で、運用コストが少なく抑えられます。

## 管理者のために

監視や情報収集の通信の暗号化と、各エージェントに作成される管理情報の暗号化を行っており、Net-ADMの扱う情報の保全を図っています。また、コンソールの操作ログを蓄積することで障害発生時の対応の確認や、作業実績の確認などに役立てることができます。

## ITシステム、IT資産の運用ライフサイクル

ITシステム・IT資産を維持・運用するためには、資産情報の管理から、監視、日々の運用機能、各種レポート出力などが必要です。これらの機能を繰り返し使用して運用のライフサイクルが実現されます。

Net-ADMは運用のライフサイクル全般で必要となる機能を提供しています。



### 基礎情報の管理(資産管理)

J-SOX対応やIT統制、セキュリティ対策や情報漏えい対策など企業に求められるコンプライアンスは高まるばかりです。日々の業務の証跡とするために、操作ログや稼動履歴を採取したとしても、動作しているPCやサーバの情報が不確かでは、採取した情報も不確かなものになってしまいます。Net-ADMでは、エージェントを導入するだけでPCやサーバの基本情報を自動的にデータベースへ登録することができ、最新の状態をいつでもコンソールから確認できます。PC・サーバ・ネットワーク機器の資産管理情報は、運用管理サイクルの基本です。

### 監視の準備と設定

目的に合わせて監視の設定を行っていきましょう。Net-ADMのコンソールから全ての設定を行います。PCの資産管理もサーバのプロセス監視も一つの画面から確認が行えます。まず稼動状況の監視からはじめ、ディスク使用率やログファイル監視など詳細な設定を行っていくこともできますし、一括設定の機能で設定を行うこともできます。Net-ADMは基本的な管理・監視機能の他にお客様の細かな要望に合わせて応用できる機能も提供しています。

### 日々の運用

日々の運用では、障害の即時対応やエンドユーザ環境のメンテナンス、エンドユーザ操作のサポートなどが必要です。Net-ADMにはPCのサポートをする為の機能や遠隔地のサーバのメンテナンスのための機能が豊富に準備されています。コンソールから機器情報、ネットワークの稼動状況、サーバ監視の設定内容とその監視状況などを確認できるので、迅速に対応することができます。障害監視機能の目的は、障害の通知により即時に対処することと、履歴情報や対処情報を再発防止に役立てることにあります。

### システムの把握

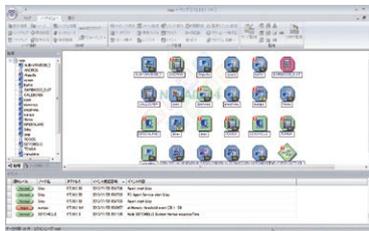
長期的なIT環境のサイジングや安定運用を行っていくためには、サーバやネットワークの稼動状況や性能情報を蓄積し、統計を行っていくことが必要です。Net-ADMは、一つのデータベースに資産情報、障害情報、操作ログ、性能情報を管理します。アプリケーションの稼動状況からサーバリソースの使用状況など総合的なデータを統計情報として収集することができます。また、データベースに蓄積されたデータをコマンドを活用し定期的に出力していくことで、長期にわたる統計データを外部ストレージに保存していくことができます。

## ■ ネットワーク・ハードウェア資産管理

資産管理でもサーバ監視でも、監視を行う対象機器を正確に把握することが基本と考えています。マップ画面へ対象機器を登録し、稼動状況の管理を行います。

### ■ マップウィンドウで構成を管理

Net-ADMを導入して、自動検索を実行すると、エージェントの導入されたサーバやPCはエージェント搭載機として、それ以外の機器は非搭載機としてマップ画面に自動的に登録できます。数千台のPCの登録も正確に手をかけずに実施できます。管理を行うPCだけを登録したい場合は、エージェントから通知を行う方法で自動的に登録できます。IPアドレスの変更やコンピュータ名の変更があっても管理対象のPCやサーバは1台の機器として管理することができます。また、IPアドレスの変更やコンピュータ名の変更を監視することもできます。マップ画面は目的に合わせて複数作成できます。管理台数が多い場合や設置場所が離れている場合などはサブマップを作成し階層化して管理できます。



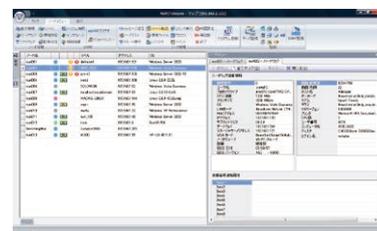
マップ画面

### ■ ネットワーク機器を含めた統合管理

Net-ADMの提供するPCエージェントやサーバエージェント以外に、標準のSNMPエージェント搭載機器の監視・管理を行うことができます。

### ■ ハードウェア資産情報の自動収集

マップ画面へPCやサーバを登録すると、ハードウェア資産情報やソフトウェア資産情報が自動収集されます。ハードウェア資産情報には、PCの電源オプションの設定内容も含まれます。電源オプションはコンソールから変更することも可能です。自動収集されるハードウェア資産情報以外に、個別情報として資産管理追加属性を定義することが可能です。マップ画面の表示から、一覧画面への切り替えができます。また、ノードを選択して、そのノードの情報や資産情報を確認することができます。



資産情報の表示画面とノード情報の表示画面

#### objective

#### ▶ リースPCの返却期間や使用者の名前を確認したい

資産管理番号、有効期限、提供元などの入力が行えます。指定した期限前に期限超過のイベントを通知することも可能です。資産管理追加属性の定義でPC使用者の情報を設定・保存することが可能です。

#### ▶ 電源オプションの設定を強制的に変更したい

電源オプションの設定内容を確認し、コンソールから設定することが可能です。WindowsXPが対象の場合は、アクティブなユーザの設定はもちろん、そのPCの電源オプションの設定をすべて強制的に変更することが可能です。

## ■ ソフトウェア資産情報の管理

導入されているソフトウェアの情報を収集することで、必要なセキュリティパッチの適用状況や、必須ソフトウェアの導入状況の確認が行えます。

### ■ ソフトウェア資産情報の自動収集

WindowsPCやサーバでは、プログラムの追加と削除に表示されているソフトウェアの名称が収集されます。LinuxではRPM、UNIXではソフトウェアパッケージの情報が収集対象です。EXE名を指定してそのプログラムが存在するかどうかを確認することもできます。収集したソフトウェア名一覧はマップウィンドウのノードメニューから確認できます。

#### objective

#### ▶ 不正ソフトウェアがインストールされていないかチェックしたい

プログラム名を指定してインストールされているかどうか確認することが可能です。また、使用を禁止している場合は、ソフトウェア監視の機能を併用し、使用者に注意を促すことができます。

### ■ ライセンス管理

ソフトウェアライセンス管理の一覧画面では、ソフトウェア名一覧とそのソフトウェアがインストールされているPCやサーバが表示されます。複数名称を一つのグループとして管理することもできます。組織図の機能を使用し、組織毎にPCを登録すると、その組織にどのソフトウェアが何本インストールされているかという情報を管理することができます。また、本数超過時に管理者へ通知を行うことができます。



ソフトウェアライセンス管理の一覧画面

## ■ サーバ監視・ネットワーク監視

統合運用管理ツールの良さは、サーバ上のOSやアプリケーションの稼動監視と SNMPを使用したネットワーク監視、インストールされているソフトウェアの確認や、リソースの監視などがすべて同一の画面で、同じ管理情報を使用して実施できることです。

- サーバの監視内容を一覧表示し、一括での設定・変更、監視の ON/OFFが行えます。一覧画面は、設定項目でのグルーピングやOSでのグルーピングなど目的に合わせた表示切替が行えます。
- マップウィンドウでノードアイコンを選択すると、使用できる機能のボタンがアクティブになりますので、対象サーバのOSに合わせた設定画面が表示されます。
- 対象サーバに登録されている監視設定の一覧が表示され、監視中かどうかの確認が行えます。ON/OFFもこの画面から実行できます。
- サーバ監視機能は、監視時間帯の設定が行えます。

- それぞれの監視機能で、問題を発見したときには、対象のサーバ上やマネージャ上でプログラムの起動が行えます。また、イベント通知時にメール通知やコンソールへのダイアログ表示など管理者への通知機能も準備されています。



サーバ監視設定画面

### ■ リソース監視

CPU使用率、メモリ使用率、ディスク使用量(率)の監視が行えます。使用率データを収集しレポート作成も可能です。

### ■ サービス監視

Windowsサーバのための機能です。サービス名を指定して、Windowsサーバ上のサービスの稼動状況を監視します。

### ■ プロセス監視

プロセスの稼動状態監視を行います。本数を指定し同時実行数の監視、指定したプロセスが異常にCPUを使用していないかどうかを判断するしきい値監視、システムのMAXプロセス数を超えないようにプロセス総数を指定するしきい値監視の3種類の方法があります。

### ■ ログファイル監視

テキストファイルに出力される文字列パターンの監視を行います。文字列パターンを検知するとマネージャにイベント通知します。

### ■ イベントログ監視

Windowsサーバのための機能です。イベントログに出力されるメッセージ内容の監視を行います。監視パターンについては、種類・ソース・イベントID・説明のいずれかを指定します。パターンを検出するとマネージャにイベント通知します。

### ■ スクリプト監視

ユーザが作成したプログラム (EXE、SH等) を指定された間隔で実行し、その実行結果 (標準出力、Exit値) を監視する機能です。実行結果のしきい値監視や、レポート作成が可能です。

### ■ ポート監視

TCP/IPを使用するサービス (SMTP、HTTPなど) のポート番号の稼動状態を監視します。サービスやプロセスの監視と併用して、外部からのアクセス可否の確認が行えます。サーバ上の仮想IPアドレスに対してもポート監視の設定が行えます。

### ■ 稼動状況監視

ICMP、SNMP、Net-ADMエージェントポーリングの3段階のポーリング監視を行います。サーバやPC、ネットワーク機器がマップに登録されると、登録時に稼動しているエージェントの種類によって最適なポーリング監視の設定が行われます。

### ■ SNMP 監視

SNMPトラップを受信し、イベントウィンドウに表示します。SNMPの任意のOIDにしきい値を設定して監視を行うことができます。管理者への通知機能も準備されています。

#### objective

#### ▶ インターネットサーバやメールサーバの監視をしたい

インターネットサービスやメールサービスなどのサービス監視や、プロセスの稼動状況を監視します。ポート監視では、監視対象サーバの使用するポート番号 (例えば、HTTPの80番) に対し、ポーリング監視を行います。ポーリング監視では、TCP/IPレベルでコネクションを実施し、サーバのポート番号が接続可能な状態にあるかどうかを監視します。

また、WindowsOSのイベントログの監視が可能です。その他、ログファイル監視機能を使用して、Linuxなどのシスログやアプリケーションのテキストログファイルの監視が可能です。ログファイル監視では、日付や時間出力部分の長さを指定することで、メッセージのみのパターン検索を行うことができます。これらの機能を組み合わせることで障害時の状況把握に役立てることができます。

objective

▶ ネットワーク機器のSNMP監視をしたい

SNMPエージェントを搭載しているノードに対してデータの収集が行えます。リアルタイムグラフにグラフ表示する機能、蓄積してレポート出力する機能を提供しています。

- ◇インタフェース送受信 ◇インタフェースエラー
- ◇SNMP入出力パケット ◇SNMP入出力 ◇TCPトラフィック
- ◇UDPトラフィック形式での出力が可能です

SNMPエージェントを搭載しているノードの、標準MIB、MIB II、企業固有MIBに対し、しきい値を設定して監視することが可能です。また、SNMPV1、V2cのトラップの受信が可能です。

▶ 指定した時間帯だけ監視し、障害発生時にブザーを鳴らしたい

それぞれの監視設定プロパティから、監視時間帯の設定やアクションの指定が行えます。



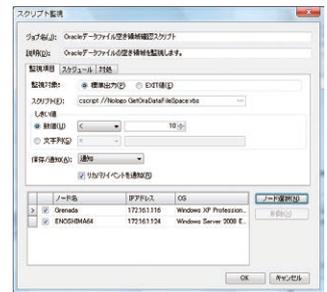
▶ サーバ上で定期的にコマンド実行し結果を収集したい

エージェント上にスクリプト(プログラム)を準備し、定期的に起動し、情報を収集、監視することができます。また、レポート機能により収集したデータをCSV出力することもできます。

アプリケーションデータベースの使用量や、自社開発アプリケーションのステータス出力などいろいろな目的で使用することができます。

例

- データベース使用量の監視
- アプリケーションの処理状況把握
- クライアントでのコマンド起動状況の確認



スクリプト監視機能の設定

## PC監視

PCの使用者が、どのような操作を行っているのか、操作ログを採取し監視することができます。

### ■ プロセス稼動履歴

プロセスの開始、終了時刻、実行ユーザ名などの情報を採取します。業務プログラムの使用状況を調査するなど統計情報の採取などにも活用できます。また、プロセス稼動履歴のデータから、PC稼動時間のレポート作成が行えます。

### ■ ソフトウェア操作履歴

ウィンドウがアクティブウィンドウになった時刻、アクティブウィンドウのタイトルが変わった時刻、アクティブウィンドウでなくなった時刻の履歴を採取します。ユーザがどのような操作を行っているかを確認することができます。

### ■ ファイル操作履歴・印刷履歴

ファイルコピーや削除などのファイル操作や印刷の履歴を採取します。

### ■ ソフトウェア監視

プログラムの実行を監視します。特定のプログラムが実行された時に、以下のアクションを起こすことが可能です。

- ・コンソールにイベント通知する。
- ・起動したPCの画面にメッセージを表示して警告する。
- ・起動したPCの画面にメッセージを表示し、プログラムを強制終了する。

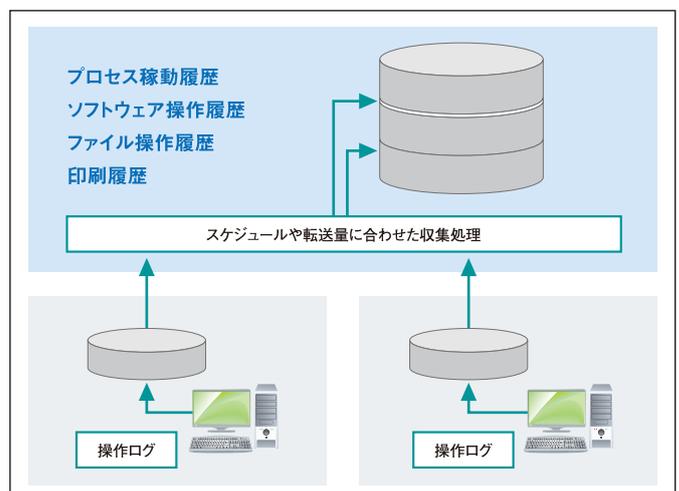
### ■ 収集ジョブの設定

プロセス稼動履歴およびソフトウェア操作履歴・ファイル操作履歴の情報はエージェント上に一旦ログファイルとして保存されます。収集のタイミングを運用に合わせて設定します。一定時間毎や特定の時間など、PCの使用状況に合わせて設定することができます。

objective

▶ 特定のWebサイトを閲覧禁止にしたい

ソフトウェア監視の機能で、特定のプログラムが実行された時に、プログラム強制終了、イベント通知や警告メッセージの表示などを行い、注意喚起を行います。この機能で、ウィンドウタイトル名の指定も可能です。特定の名称やURLアドレスを含む場合に強制的に終了させることも可能です。



PCの台数が多くてもネットワークに負荷をかけず収集する仕組み

## ■ リモート操作・配布

障害発生時などに遠隔地からサーバやPCのメンテナンスを行うための道具、多数のPCの一括設定変更などを行うための道具が準備されています。

### ■ ノードテスト・ファイル転送機能

Linux・UNIXサーバが対象の場合は、コンソールから、マスタサーバ、リモートサーバ間のファイル転送が可能です。ファイル転送、ファイルの削除やファイル属性の変更なども実行できます。

PCやWindowsサーバの場合は、コンソールとの間でファイル転送を行います。ファイル転送のプロトコルは、Net-ADMの暗号化された通信機能を使用していますので、Windowsのネットワーク共有が使用できない環境やFTPプロトコルを閉じた環境でも使用可能です。

### ■ ノードメンテナンス機能 (ファイルの配布とコマンド実行)

エージェント搭載機のシステム環境の一斉更新などのために、ノードメンテナンス機能が提供されています。

複数のエージェント搭載機を選択し、ファイル転送とコマンドの実行を逐次実行します。アプリケーションの設定変更などでも使用できます。PCだけでなくサーバでも使用が可能です。

### ■ リモートコマンドの実行

エージェント上で実行するコマンドをコンソールに登録しておきメニューから実行することができます。定型的な運用操作や、障害発生時の対処などを登録しておくことができます。

### ■ WindowsPCのリモートコントロール

リモートコントロール機能は、エージェントのデスクトップをコンソール上に表示することによって、マウスやキーボードの操作を直接行います。

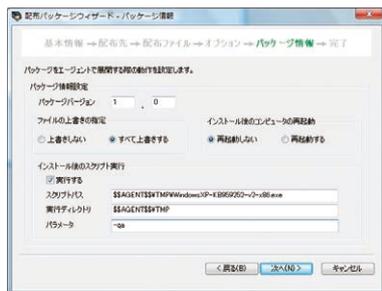
### ■ WindowsPC への配布機能

コンソールでパッケージを作成し、PCへ配布を行います。即時配布やスケジュール配布が行えます。リトライの有効期間設定や配布後のプログラム実行が行えます。

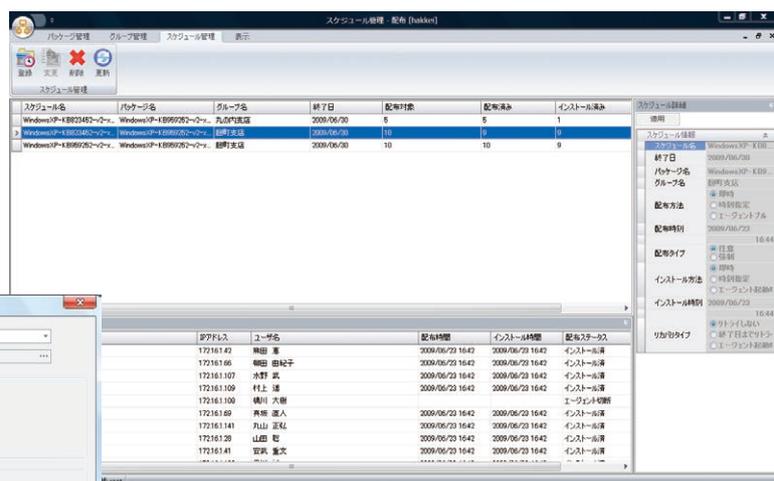
objective

### ▶ セキュリティパッチを強制適用したい

コンソールでパッケージを作成し、PCへ配布を行います。リトライの有効期間設定や強制配布の実行が行えます。



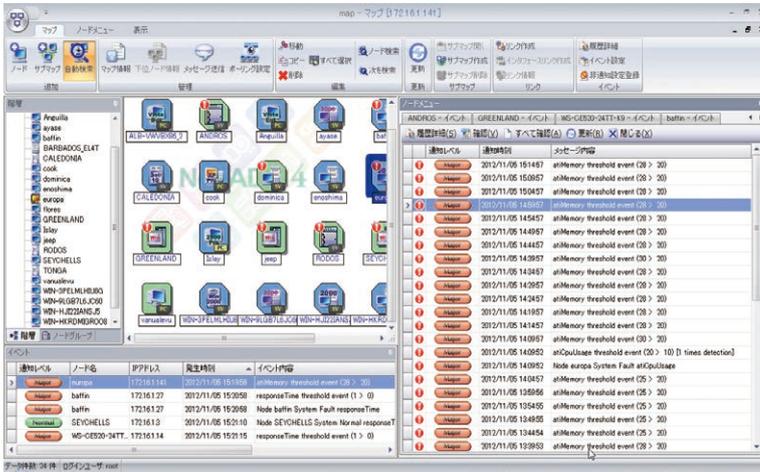
配布するファイルでパッケージの作成



作成したパッケージのスケジュール登録

## ■ 障害イベント管理・対応

サーバ監視、ネットワーク監視などのすべてのイベントを統合管理します。



### マップウィンドウとイベントウィンドウ

イベントウィンドウに、イベントの一覧が表示されます。イベントの発生をノードアイコンの上部にイベントマークアイコン   で表示します。イベントウィンドウから特定ノードの情報を確認することが可能です。

Net-ADMのイベントウィンドウには以下のイベントが通知・表示されます。

- エージェントの動作についてのイベント (開始、終了、処理異常など)
- サーバ監視機能の監視イベント
- SNMP監視機能のしきい値超過イベント、トラップのイベント
- ライセンス管理や資産管理 (期限属性) 関連のイベント
- エージェントからメッセージ通知機能あるいはコマンドインタフェースを使用して発行したイベント

それぞれのイベントには、アクションやコンソールへの表示・非表示、保存期間の定義を行うことができます。

- 管理者の使用するコンソールへのダイアログ表示やビープ音の呼応
- 管理者へのメール通知
- マネージャ上あるいはエージェント搭載機上でのコマンド起動

### ■ イベントの再送

エージェントから通知されるイベントが、ネットワーク障害などでマネージャへ通知されなかった場合、エージェント側に一時的に保存され復旧後に再送することができます。

### ■ 対処と原因の入力

イベントの確認画面で、対処と原因の入力が可能です。イベント履歴として保存されます。

### ■ イベントの検索

過去に発生したイベントは、イベント履歴の画面から検索が行えます。検索結果をCSV出力することも可能です。

#### objective

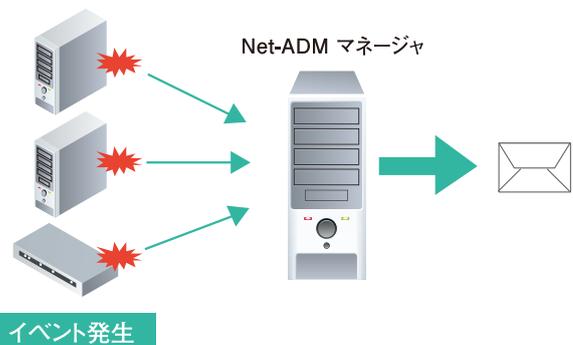
#### ▶ 障害対応オペレーションをイベントの属性として残したい

障害イベントが発生したノードアイコンには、イベントマークアイコン   が表示されます。イベントの確認操作を行うと表示は終了します。確認作業と共に、イベントの属性としてコメントを残すことができます。障害発生時の対応などを保存できます。

#### objective

#### ▶ メール通知を行っているが、複数イベントをまとめて通知したい

イベント発生時のアクション実行でメール送信を行う場合、1イベント1メールではなく、1つのメールに複数のイベント情報をまとめて送信することができます。



## ■ レポート・データ出力

各種機能のレポート表示が行えます。検索機能や列の選択などを活用し、必要な情報をピックアップしてファイル出力することが可能です。またデータ出力を行うコマンドも準備されています。

### レポート機能

#### ファイル出力

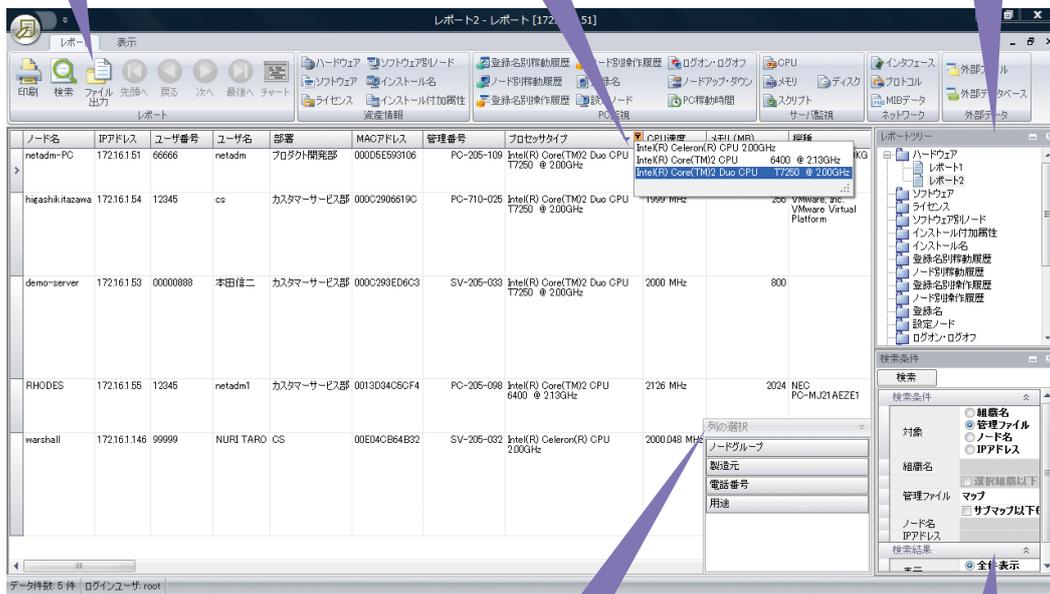
表示されているデータを出力します。EXCEL形式、PDF形式、CSV形式のファイル出力が行えます。

#### フィルタアイコン

表示されているデータによる絞り込みが可能です。フィルタアイコンをクリックするとリストに含まれる値を表示するので表示したい値を選択します。

#### レポートツリーウィンドウ

検索条件を指定して作成したレポートがツリー表示されます。同じ種類のレポートをマップ、組織別などの単位で複数枚表示することが可能です。レポートを複数枚表示し、レポートツリーから表示を切替えることが可能です。



#### ステータスバー

レジストリ値やファイルサイズ、日付、特定テキストファイルの文字列などを収集できます。特定のソフトウェア製品に定義されているプロダクトIDやバージョン情報などの収集が可能です。

#### 列の選択

列の選択ダイアログボックスに列のヘッダ部分をドラッグ&ドロップすることによって表示項目を調整することができます。調整した項目でのファイル出力が可能です。

#### 検索条件

レポート表示データの検索条件がプロパティウィンドウで表示されます。条件を変更しながら検索することができます。

### objective

#### ▶ ハードウェア一覧を出力したい

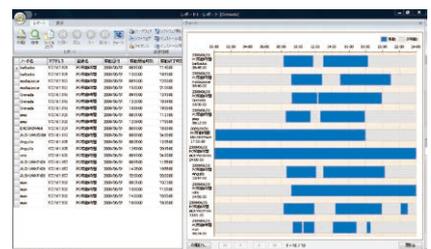
##### ハードウェア一覧レポート

ハードウェア資産情報の一覧をレポート出力します。出力項目のフィルタリングなどを画面で行った後、PDF形式やCSV形式での出力が可能です。

#### ▶ PCの使用時間を調べたい

##### PC稼動時間レポート

プロセス稼動履歴で収集するデータをもとに、PC稼動時間レポートを作成します。電源駆動とバッテリー駆動を区別して表示することが可能です。また、稼動時間とは別にログイン・ログアウト時間のレポートの出力も可能です。合わせて、PCの使用状況を確認しグリーンITの基礎データとして把握することができます。



PC稼動時間レポートのチャート形式表示

## objective

## ▶ ファイル操作や印刷のログを収集したい

## ソフトウェア操作履歴レポート

ファイルの作成、コピー、削除などのファイル操作をレポート出力します。プリンタ名や出力ファイルの名前も表示します。

## ▶ アンチウイルスソフトのバージョンを知りたい

## インストール付加属性レポート

レジストリ値やファイルサイズ、日付、特定テキストファイルの文字列などを収集できます。特定のソフトウェア製品に定義されているプロダクトIDやバージョン情報などの収集が可能です。

## ▶ ディスク使用量の監視やCPU・メモリ使用率の統計を取りたい

サーバのディスクの使用量(率)の監視が可能です。Linux・UNIXサーバに関してはファイルシステム単位での指定が可能です。Windowsサーバはボリューム単位の指定となります。また、CPU、メモリ使用率も同様に、しきい値監視が可能です。

## POINT!

CPU、メモリ、ディスク監視やネットワーク監視機能では、しきい値による監視の他に定期的にデータベースに値を保存することができます。保存したデータは、レポート機能で検索、閲覧することができます。

## ▶ ソフトウェアの導入本数を調べたい

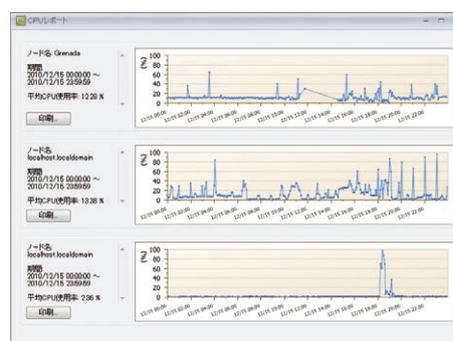
## ソフトウェア一覧レポート

収集されたソフトウェアの一覧と導入本数(検出ノード数)をレポート出力することができます。

## ▶ Linux サーバのRPM 適用状況を確認したい

## ソフトウェア一覧レポート

LinuxサーバのRPM、UNIXサーバのソフトウェアパッケージの導入情報を収集します。本数の管理やライセンスの管理はWindowsと同様です。



リソース使用状況の表示

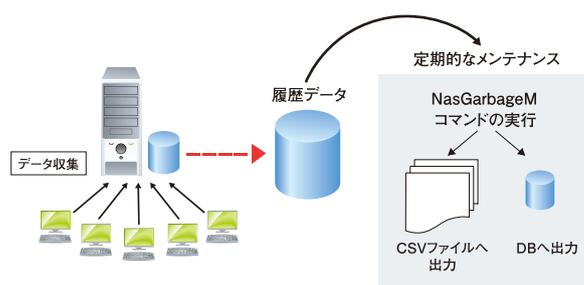
## ■ ガベージコマンド・データ出力コマンド

性能情報や稼動履歴など蓄積されていくデータを、データベースから一括して削除・出力する機能で、出力したデータはレポートで参照できます。削除と同時にCSVファイル形式での出力やデータベースへの出力が行えます。長期間のデータを保存する場合などは有効に活用できます。

## objective

## ▶ 操作ログの収集で溜まったデータを外部媒体に保存しておきたい

性能情報や稼動履歴など蓄積されていくデータを、データベースから一括して削除・出力する機能が準備されています。削除と同時にCSVファイル形式での出力やデータベースへの出力が行えます。長期間のデータを保存する場合は計画的に実行し、外部媒体への保存やストレージサーバなどへの保存が有効です。削除時の資産情報の出力も行いますので、参照時にその時点でのサーバ名やアドレスなどを確認することができます。



## ■ Net-ADM コンソールの操作ログ採取

コンソールを使用してどのような操作を行ったかのログを採取できます。障害追及時のオペレーションを後から確認することができます。また、不正使用などの防止につながります。

## objective

## ▶ Net-ADM のコンソールからどのような操作を行ったのか確認したい

コンソールを使用してどのような操作を行ったかのログを採取できます。障害追及時のオペレーションを後から確認することができます。また、不正使用などの防止につながります。

## Net-ADM 製品構成とライセンスの考え方

マネージャは、データベースを使用します。データベース操作を行う基本モジュールです。ネットワーク機器の監視機能も含まれます。



マネージャ



コンソール

コンソールはNet-ADMの操作を行うために必須のソフトウェアです。稼働状況の表示、イベントの表示、各種監視の設定や、資産情報や収集したデータの表示などを行います。2台以上のコンソールを使用する場合には、追加コンソールライセンスが必要です。

データセンターやオフィスの各種サーバ(Web/メール/ファイルサーバなど)にサーバエージェントを導入し、稼働監視を行います。サーバエージェントは、対応OS別にソフトウェアを準備していますが、ライセンス購入時は、“UNIX”と“Windows、Linux”の2種類に分けて、導入する台数をカウントします。導入する台数とは、コンソールで監視・管理の対象とする台数です。(仮想サーバも1台とカウントします。)サーバエージェントパッケージには、1台目のコンソールライセンスとマネージャライセンスが含まれています。



Windows サーバエージェント

Linux サーバエージェント

UNIX サーバエージェント



PC エージェント



WindowsPCのハードウェア資産(CPU、メモリ、HDDなど)やアプリケーションインストール状況の把握、操作ログの収集、遠隔操作や配布などを行うためにPCエージェントを使用します。Windowsサーバへの導入も可能です。導入する台数をカウントします。PCエージェントパッケージには1台目のコンソールライセンスとマネージャライセンスが含まれています。

## NASCenter Net-ADM 4 提供機能

		エージェント			
		PC	Windows サーバ	Linux・UNIX サーバ	SNMP
ネットワーク・ハードウェア 資産管理	ノード自動検索機能	○	○	○	○
	エージェント通知によるノード登録機能	○	○	○	
	IPアドレスの変更通知	○	○	○	
	ノードのポーリング監視 (ICMP, SNMP)	○	○	○	○
	SNMP標準MIB・MIB IIの性能状況表示、しきい値監視、構成情報表示				○
	MIB値収集、しきい値監視 (MIB, MIB II, 企業固有MIB)				○
	SNMPV1,V2cトラップ受信				○
	ハードウェア資産情報の収集	○	○	○	○
	ハードウェア資産管理情報の登録、使用期限の管理と通知	○	○		
システム監視	CPU、メモリの性能状況、ディスクの使用率の表示	○	○	○	
	プロセス監視 (同時実行数、プロセスのCPU使用状況)		○	○	
	サービス監視 (サービス名指定によるサービスの状態監視)		○		
	ログファイル監視 (テキストファイルの文字列監視)		○	○	
	イベントログ監視 (イベントログ種類、種類、ソース、IDなどの指定)		○		
	スクリプト監視 (エンドユーザ開発スクリプトによる監視とデータ蓄積)		○	○	
	リソース監視 (CPU、メモリ、ディスク)		○	○	
	マネージャからのポート監視 (TCP)		○	○	
イベントコンソール	監視項目の一括設定・変更・停止		○	○	
	イベント発生時のメール、ダイアログ表示、コマンド起動	○	○	○	○
	イベントフィルタリング機能	○	○	○	○
ソフトウェア資産管理 ライセンス管理	イベント履歴からの検索機能	○	○	○	○
	ソフトウェアのインストール状況の自動収集	○	○	○	
	ソフトウェアの使用期限管理と通知	○	○	○	
管理者セキュリティ機能	組織別、購入単位のライセンス管理	○	○	○	
	ライセンス本数と導入ノード数の管理、ライセンス数超過時の通知	○	○	○	
	管理者レベル設定や管理者ログイン履歴	○	○	○	○
レポート機能	コンソール操作ログ採取	○	○	○	○
	機器 (ノード) 一覧出力、PC稼働時間、収集した性能情報などの出力、 ライセンス情報、ソフトウェアインストール状況などの出力	○	○	○	○
操作支援・リモート操作	ノードテスト (Ping, SNMP, TCP, TraceRt) の実行機能	○	○	○	○
	ノードポップアップメニューへのプログラム登録	○	○	○	○
	メッセージ送信 (特定、全ノード)	○	○		
	リモート画面制御 (リモートコントロール)	○	○		
	電源オプションの表示・設定	○	○		
	リモートコマンド実行	○	○	○	
	起動中プロセスの一覧表示、再起動	○	○		
	時間設定、システム再起動・終了	○	○		
	ファイル転送 (コンソール、エージェント間)	○	○		
	ファイル転送 (エージェント、エージェント間)			○	
	レジストリ編集、環境設定ファイル編集	○	○		
	ノードメンテナンス機能 (ファイル転送とコマンド実行の逐次実行)	○	○	○	
稼働履歴・操作履歴	PC稼働時間 (電源ON/OFF) の収集	○	○		
	プログラム (プロセス) の実行開始・終了時間の履歴情報収集	○	○		
	ウィンドウプログラムの実行開始・終了時間、タイトル名の履歴情報収集	○	○		
	プログラムの実行禁止、実行時イベント通知	○	○		
	ログイン・ログアウトの時刻やログイン名のイベント通知	○	○		
	ファイルのコピー・削除・印刷などの操作履歴収集	○	○		
配布	PULL・PUSH型、スケジュール配布・即時配布の実行	○	○		
アドミッションサービス機能	アドミッションポリシーの定義 資産情報による監査実行	○	○		

# NASCenter Net-ADM 4

## 対応プラットフォーム

### Windows マネージャ

Windows Server 2008 R2 , SP1  
Windows Server 2012

CPU 2GHz以上 (推奨)  
RAM 推奨2GB以上  
HD容量 800MB以上 (DB容量はデータ保存期間/使用機能に依存します。)

### Linux マネージャ

Red Hat Enterprise Linux 6.3  
Red Hat Enterprise Linux 6.3 for AMD64/Intel EM64T  
CentOS 6.3(x86\_64)

CPU 2GHz以上 (推奨)  
RAM 推奨2GB以上  
HD容量 800MB以上 (DB容量はデータ保存期間/使用機能に依存します。)

### Windows マネージャデータベース

Microsoft SQL Server 2008 R2 Workgroup/Standard/Enterprise/Express  
Microsoft SQL Server 2012 Standard/Business Intelligence/Enterprise/Express

### Linux マネージャデータベース

DB PostgreSQL 8.4.11

### コンソール

Windows 7 Professional/Ultimate/Enterprise (x86,x64) , SP1  
Windows 8 Pro/Enterprise (x86,x64)  
Windows Server 2008 R2 , SP1  
Windows Server 2012

CPU 2GHz以上 (推奨)  
RAM 2GB以上 (推奨)  
HD容量 50MB以上

### Windows サーバエージェント

Windows Server 2003 (x86, x64) SP2  
Windows Server 2003 R2 (x86, x64) SP2  
Windows Server 2008 (x86, x64) SP1/SP2  
Windows Server 2008 R2 SP1  
Windows Server 2012

### PC エージェント

Windows XP Professional SP2/SP3 , x64  
Windows Vista Business/Ultimate/Enterprise (x86, x64), SP1/SP2  
Windows Server 2003 SP2 , x64  
Windows Server 2003 R2 SP2 , x64  
Windows Server 2008 (x86, x64) SP1/SP2  
Windows Server 2008 R2 SP1  
Windows 7 Professional/Ultimate/Enterprise (x86,x64) , SP1  
Windows 8 Pro/Enterprise (x86,x64)  
Windows Server 2012

### Linux サーバエージェント

Red Hat Enterprise Linux Version 4/4.5/4.6/4.7/5/5.1/5.2/5.3/5.4  
/5.5/5.6/5.7/5.8/6/6.1/6.2/6.3  
Red Hat Enterprise Linux Version 4/4.5/4.6/4.7/5/5.1/5.2/5.3/5.4  
/5.5/5.6/5.7/5.8/6/6.1/6.2/6.3 for AMD64/Intel EM64T  
CentOS 4.5/4.6/4.7/5.0/5.1/5.2/5.3/5.4/5.5/5.6/5.7/5.8/6.0/6.1  
/6.2/6.3 32bit,64bit  
Turbolinux 10 server

### UNIX サーバエージェント

Solaris 8 (SPARC) / 9 (SPARC) / 10(SPARC)  
HP-UX 11.0/11i version1

※最新バージョンの対応プラットフォームはホームページでご確認ください  
URL://<https://www.nuriflex.co.jp>



ヌリフレックスジャパン株式会社  
〒102-0073  
東京都千代田区九段北1-10-5 サンブリッジ九段ビル5F  
TEL 03-3512-2882 FAX 03-3512-2884

●NASCenter,Net-ADMは、ヌリフレックスジャパン株式会社の登録商標です。●Microsoft, Windows, Windows Serverは、米国, Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。●Linuxは、Linus Torvalds氏の登録商標です。●Red Hatは、米国Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。●Turbolinuxおよびターボリナックスは、ターボリナックス株式会社の登録商標です。●Solarisは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国 及びその他の国における登録商標または商標です。●Unixは、X/Open Company Limitedが独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。●HP-UXは、ヒューレット・パカード社の商標です。●その他記載の社名、ロゴ、システム名、製品名は各社の商標または登録商標です。